



当事者の実体験・遺伝/がんゲノム医療の現状

そこからみえてくる遺伝看護を創造していこう

当事者の語り(高田寛子さん仮名) **10:05～10:45** (10分間対談)

(家族性大腸腺腫症に罹患され、現在看護師として活動中)

「FAPと共に生きて」

→高田さんの語りを通して、見えてくる支援を考える

十川麗美 先生 10:45～11:45

(香川大学医学部附属病院 臨床遺伝ゲノム診療科・特命助教・認定遺伝カウンセラー)

「ゲノム医療と遺伝カウンセリング－認定遺伝カウンセラーの視点から－」

日下 咲 先生 11:45～12:25

(兵庫県立がんセンター・がん看護専門看護師)

「遺伝/がんゲノム医療における看護実践と教育体制－がん看護専門看護師の立場から－」

質疑応答

クロージング ～13:00

2025年12月13日(土)

10:00～13:00

WEB開催

※**参加費無料**ですが、
事前申し込みが必要です
(先着80名様まで)

参加申し込み方法

下記URLまたは、右記のQRコードを読み取ってお申し込みください。

※ご所属、氏名、職種、メールアドレスの登録が必要です。

<https://forms.office.com/r/nxvb7p4ZBZ>

参加締切
11月29日まで



主催：徳島大学大学院医歯薬学研究部 がん看護学分野 今井芳枝

共催：高知県立大学大学院看護学研究科 愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻
山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻

■ 講師紹介

当事者のお話

■ 内容

FAPと共に生きてこられた中で、どのように過ごされてこられたのか、ライフイベントに合わせながら、その時々を感じられたことを語って頂く予定です。最後に、「これからのこと」を私たちに向けてお話をして頂く予定です。お話後に対談を致します。

■ 講師紹介

十川 麗美 先生

2019年3月京都大学大学院医学研究科を修了され、2019年4月に岡山大学病院臨床遺伝子診療科認定遺伝カウンセラーとして勤務、2023年10月からは香川大学医学部附属病院臨床遺伝ゲノム診療科特命助教としてご着任されています。現在は診療・研究・教育に従事しながら、多数の学会等の評議員等も務められておられます。

■ 内容

遺伝性腫瘍の診療において、認定遺伝カウンセラーがどのように患者・家族に関わるべきかについて、これまでの診療経験をもとにお話しいただきます。特に、遺伝カウンセリングを通じて患者が疾患リスクや治療選択肢を理解し、納得した意思決定ができるよう支援する過程や、家族への影響を考慮したサポートの重要性について、具体的な事例を交えながらご講演いただく予定です。

■ 講師紹介

日下 咲 先生

兵庫県立看護大学をご卒業後、2006年より兵庫県立がんセンターに勤務され、2012年に兵庫県立大学大学院修士課程看護学研究科を修了し、2013年にがん看護専門看護師の資格を取得されました。修士課程で遺伝がん看護を学んだ機会より、遺伝がん看護をサブスペシャリティとし、現在では遺伝外来やがんゲノム医療外来を含む外来看護に従事され、ご活躍されています。

■ 内容

遺伝情報が患者さんやご家族にとって有益な情報としてがん診療に活用できるように、現在、取り組まれている看護情報提供書を活用した他施設看護師との看看連携を含む看護実践について紹介して頂く予定です。また、ゲノム・遺伝看護委員会の取り組みなどの教育体制についてもお話し頂く予定です。